

超音波式骨年齢測定装置を使用した柔道選手のタレント発掘に関する研究 (平成20～21年度)

藤田 英二

鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター

近年、日本全国の各自治体においてスポーツのタレント発掘は盛んに行われています。福岡県柔道協会においても平成14年度より「福岡柔道クラブ」を設立して小学生5・6年生を対象に強化指定選手を選考して育成と強化を行っています。これは全日本柔道連盟が作成した競技者育成プログラムにもとづき、全国に先駆けて小学生を対象に行っている事業です。強化指定選手は500名余りの中から福岡県少年柔道選手権大会での上位入賞者および、競技者育成委員や所属する各道場の指導者から推薦された選手が60～70名選考されています。選考された選手達は、福岡県柔道協会が費用を負担して数ヶ月おきに強化練習や合宿を実施しています。

この福岡柔道クラブでは、平成19年度より福岡県立スポーツ科学センター（アクション福岡）の協力のもとに体力測定を実施しています。この年代の体力や運動能力に代表される競技力は、発育・発達の個人差による能力差が大きく出ます。特に柔道では体の大きい選手が有利ということもあり、個人の能力を正確に評価するためには暦年齢にもとづいた比較ではなく、生物学的年齢（Biological Age）を把握して、成熟度を知らなければなりません。旧共産圏をはじめとする欧米諸国ではスポーツのタレント発掘において骨年齢の評定が多く行われてきました。しかし、従来の骨年齢の代表的な測定法は、手

部および手関節のX線写真を撮影しなければなりませんでした。そういった理由から、実際のスポーツ指導現場で骨年齢を評価した報告は少ないのが現状です。本学のスポーツトレーニング教育研究センターが保有している超音波式骨年齢測定装置（BoneAge, Sunlight社製）はX線被爆がないため測定場所の制限がなく、かつ短時間で測定可能である優れた装置です。そこで、平成20年度から体力測定と同時に骨年齢測定を実施しています。これまでに小学生の柔道選手における生物学的な成熟の特徴や、他の体力測定項目との関係などの興味深いデータが集まりました。研究成果の一部は武道学研究に論文として掲載されました。

福岡柔道クラブは福岡県から将来のオリンピック選手の輩出を目的に設立されました。その一期生のひとは今春高校を卒業し、実業団への進路が決定しています。高校時代の成績は国内のみならず2008年に世界ジュニア選手権3位、2009年にはフランスジュニア国際大会で優勝するなど、オリンピックでの金メダルも夢ではない選手に成長しています。今後もこのような研究を継続・発展させて、柔道選手のタレント発掘や発育発達に応じた一貫指導プログラムの確立およびスポーツ障害予防に役立てていきたいと思っています。